

光と風の輪

第51号

令和2年1月10日 発行

光：生きがい、歓喜 風：力 輪：仲間、連帯



謹
賀
新
年

も く じ

- ◆会長新年あいさつ…………… 1
- ◆令和2年度の主な行事予定…………… 1
- ◆知事新年あいさつ…………… 2
- ◆第54回長崎県老人クラブ大会報告 …… 3
- ◆2019年度各種表彰 …… 4
- ◆令和元年度九州ブロック
老人クラブリーダー研修会参加報告…………… 5
- ◆市町老連若手リーダー研修会開催報告…………… 5
- ◆市町老連女性リーダー研修会開催報告…………… 6
- ◆「令和元年度高齢者の
健康づくり・生活支援セミナー」に参加して… 7
- ◆第48回全国老人クラブ大会参加報告 …… 8
- ◆第32回全国健康福祉祭和歌山大会 …… 9
- ◆老人クラブ傷害・賠償保険…………… 9
- ◆第17回長崎県ねんりんピック案内広告 …… 10
- ◆「社会奉仕の日」活動報告…………… 11
- ◆編集雑感…………… 11

会長 新年あいさつ



長崎県
老人クラブ連合会
会長 内田 政信

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、令和になって初めての新しい年をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年6月に県老連の会長を拝命いたしました。皆様のご協力とご支援により、各種事業を推進できましたことに厚く感謝申し上げます。

さて、高齢化が進展した今日、住み慣れた地域において、生きがいのある自立した生活をできる限り長く続けていける仕組みづくりが進められ、老人クラブには、その仕組みの中で担い手となることが求められており、また、その期待に応えていかなければなりません。

特に、長年にわたり「健康・友愛・奉仕」の三大運動を基本に、みんなが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいりましたが、今後も地域で進められている日常生活支援活動に積極的に関わっていくことがますます重要となってまいります。

そのためには、私たち自身が健康で、明るく楽しい老人クラブ活動を実践して、その活動を地域にアピールし、多くの仲間を増やし、地域で頼りにされる老人クラブとなる必要があります。

しかしながら、平成二十六年年度から五か年計画で会員増強運動に組織を挙げて取り組んでまいりましたが、老人クラブ活動の基盤となる会員数は、依然として減少しているという厳しい状況が続いています。

会員の皆様におかれましては、おひとりおひとりがそれぞれの立場で、仲間づくりに取り組んでいただきたいと思っております。

最後になりましたが、ご支援ご指導をいただいております行政当局並びに関係団体に感謝申し上げますとともに、会員皆様のますますのご健勝とご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



令和2年度の主な行事予定

- 第17回長崎県ねんりんピック
5月23日(土)
シーハットおおむら(大村市)
で開会式
- 県老連理事会
6月3日(水)
- 県老連評議員会
6月18日(木)
- 市町老連会長研修会
6月18日(木)～19日(金)
長崎市
- 高齢者相互支援事業研修会
6月・7月
佐世保市・時津町・
新上五島町・小値賀町
- 市町老連事務局長等会議
7月7日(火)
長崎市
- 九州ブロック老人クラブリーダー研修会
7月9日(木)～10日(金)
熊本県
- 市町老連女性リーダー研修会
8月27日(木)～28日(金)
島原市
- 市町老連若手リーダー研修会
9月3日(木)～4日(金)
島原市
- 健康づくりリーダー養成講習会
9月・10月
諫早市・平戸市・松浦市・
対馬市
- 第55回長崎県老人クラブ大会
10月29日(木)
諫早市
- 第33回全国健康福祉祭
ぎふ大会 地域文化伝承館
10月31日(土)～11月3日(火)
岐阜県
- 第49回全国老人クラブ大会
11月17日(火)～18日(水)
山形県
- 県老連理事会
令和3年3月5日(金)
- 県老連評議員会
令和3年3月16日(火)



この機関誌は共同募金の配分金により発行しました。



長崎県知事
中村 法道

あけましておめでとございます。皆様には、令和の時代に入り初めての新年を、健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「ミライへつながる知の拠点」として県立・大村市立一体型図書館「ミライオン図書館」が開館いたしました。また、ローマ教皇フランシスコ台下が38年ぶりに本県を訪問され、原爆落下中心地では、核兵器廃絶に向けて平和のメッセージを全世界に向けて発信していただくなど、世界の平和を願う皆様の大きな力となったところであり、本県にとって実りある1年となりました。関係の皆様方にあらためてお礼を申し上げます。

本年は、総合計画が最終年度を迎えます。本県の最大の課題であり、人口減少対策については、良質な雇用の場の確保と若者の県内定着促進策や移住促進対策、自然減対策としての結婚・出産・子育て支援について、市町や関係団体等と一体となつて全力を傾注してまいります。

さて、県内各地域では様々なプロジェクトが進められており、長崎県は100年に一度とも言えるべき変革の時期を迎えております。

九州新幹線西九州ルートについては、令和4年度の武雄温泉―長崎間の開業に向け、沿線市において新しいまちづくりが着実に進められているところであり、県としては、市町や経済団体等と連携し、県民の気運醸成や誘客促進等の取り組みを進めてまいります。また、新鳥栖―武雄温泉間については、将来の西九州地域の姿を見据えると、関西・中国圏までの直通が可能となり、地域の発展に最も寄与する全線フル規格による整備が必要であると考えており、引き続き、本県選出国會議員や県議会の皆様、国及び関係自治体等と連携を図りながら、実現に向けて全力を傾注してまいります。

また、この新幹線整備とあわせ、長崎駅周辺地域においては、3月に在来線の高架軌道への切り替え及び新駅の開業を予定しているほか、交流拠点施設やホテル、商業業務施設の整備が進められており、まちの佇まいが大きく変わろうとしています。近接する三菱重工幸町工場跡地においては、ジャパネットホールディングスグループによるスタジアムを中核とした長崎スタジアムシティプロジェクトが進められております。さらに、クルーズ船を受け入れている長崎港松が枝国際観光船埠頭においては、寄港の増加に伴い、岸壁を延伸する2バース化に向け取り組んでおります。今年度は国による事業化検証調査費が計上されたところであり、令

和2年度の事業化に向け引き続き働きかけてまいります。三菱重工(株)におかれてはクルーズ船の修繕事業への着手が検討されており、実現すれば長崎がまさにクルーズの拠点としての役割を担うこととなります。

新幹線整備に並ぶもうひとつの大きなプロジェクトである特定複合観光施設(IR)区域の整備については、交流人口の拡大に加え、建設投資や施設運営を通じた地域経済への波及、新たな雇用創出などにより、本県のみならず、九州全体の経済発展に大きく寄与するとともに、政府が目指す訪日外国人観光客等の目標達成に大きく貢献できるものと考えております。今後とも、九州各県や経済団体など関係皆様方と一層の連携を図りながら、IR区域認定が得られるよう全力を注いでまいります。

また、IRが整備されるハウステンボスから近い佐世保港浦頭地区では、クルーズ拠点港としての整備が進められており、佐世保市内及び周辺地域に回遊いただくことで観光消費額の拡大に結び付くものと考えております。

島原半島においては、地域の特色を活かして観光客に特別な体験を提供する取り組みが進められているほか、県内外の資本による付加価値の高い宿泊施設の整備が進むなど、魅力ある観光地づくりに向けて、地域が大きく生まれ変わろうとしております。

離島地域においては、平成29年4月に有人国境離島法が施行され、国の支援制度の活用などにより、しまに新たな仕事が生まれ移住者が増加するなど、人口減少が改善しております。また、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録による来訪者の増加などもあり、新たなホテルが進出するなどの民間投資の動きが活発化しており、離島の活性化が期待されます。

また、長崎と上海を結ぶ国際定期航空路線は、昨年、路線開設40周年を迎え、夏季期間中の臨時チャーター便の運航を経て2月12日からの増便が決定したところであり、現在の週2便から週3便と利便性も向上いたしますので、さらなる交流の拡大に結び付けてまいります。

本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。全国を巡る聖火リレーは5月8日、9日に本県内を走行し、その後7月24日からオリンピック、また、8月25日からはパラリンピックが開会いたします。この機会を捉え、本県の魅力を国内外へ発信して交流人口の拡大を図るとともに、今後の幅広い交流促進につながるよう、これまで以上に県民の皆様と連携しながら、賑わいのある長崎県づくりに努めてまいります。

結びに、この1年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

メインテーマ

「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

令和元年11月19日(火)諫早文化会館において、多くの来賓にご出席賜り、県下各地から約1200名の会員並びに福祉関係者が参加し、第54回長崎県老人クラブ大会を開催しました。

坂本副会長による開会のことばで開幕。開会挨拶の中で内田会長は、多くの仲間を増やし、地域で頼りにされる老人クラブになることが必要であります。5か年計画で取り組んできましたが、減少傾向は続かず、会員数の減少傾向は続いて

大会宣言

わたしたち老人クラブ会員は、長年にわたり「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動に取り組み、クラブ活動を通して高齢者同士の支え合いを深め、地域の方々をはじめあらゆる世代と手を携え、地域の担い手として、みんなが安心して暮らせる地域づくりをめざし活動を展開してきました。

しかしながら、私たちの住む地域においても、要介護者の増加や高齢者の孤立化、消費者被害など高齢者を取り巻く、さまざまな課題に直面しています。

一方で、高齢化の進展により高齢者が増加している中で、昨年度まで5か年計画で会員増強運動に組織を挙げて取り組んだところありますが、依然として老人クラブ活動の基盤となる会員数が減少しているという厳しい状況が続いています。

本日この地に集うわたしたちは、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、魅力ある老人クラブをめざし、会員の力を結集し、地域の期待に応えるよう、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、会員一人ひとりのパワーを結集した「会員増強運動」の継続
- 一、健康寿命をのぼす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、友愛・奉仕活動をとおした老人クラブ活動の展開とその広報
- 一、高齢者の消費者被害や交通事故防止に向けた活動の実践

おり、会員一人ひとりがそれぞれの立場で引き続き運動に取り組んでいただくよう呼びかけました。

次に、老人クラブ等功労者への会長表彰、来賓祝辞、大村市老連鳥会長が謝辞を述べられ、最後に、瀧口副会長が大会宣言(案)を朗読、満場の拍手で採択されました。

式典の後、「楽しく食べて 元気な毎日」と題して、公益社団法人長崎県栄養士会会長 篠崎彰子先生のご講演があり、健康寿命の延伸に向け、健康管理に関する学習等に取り組んでいる私たちにとって、大変有意義なお話で、参考になりました。午後からの演芸発表では、10市町老連から11団体が出演し、日頃の練習の成果を十分発揮され、会場からは大きな拍手が送られ、皆さん大変楽しいひと時を過ごされたようでした。

演芸発表参加チーム(出演順)

- ① 島原市老連
吉田 敏博 他18名
音頭「平成有明音頭」
- ② 平戸市老連
神保久美子 他15名
コーラス 藤浦洸メドレー「水色のワルツ」平戸の歌々すもも
「帰郷」
- ③ 雲仙市老連
長谷川シズカ 他10名
舞踊「北の一本釣」
- ④ 壱岐市老連
松本 清美 他6名
民謡「壱岐の鳥エレジー」
- ⑤ 長与町老連
奥 玲子 他12名
舞踊「すごい男の唄」
- ⑥ 佐世保市老連
林 ヤス子 他22名
舞踊「早岐茶市小唄」
- ⑦ 大村市老連
浦田 雅美 他10名
フラダンス「アロハ・オエ」
- ⑧ 南島原市老連
奥蘭スミ子 他12名
踊り「雲仙ながし踊り」
- ⑨ 長崎市老連
小野 洋子 他6名
舞踊「心」
- ⑩ 諫早市老連
北村 一弘 他16名
寸劇「釜蓋かぶせ」
- ⑪ 大村市老連
児玉 克己 他13名
舞踊「川の流れのように」



島原市老連
「平成有明音頭」



諫早市老連
「釜蓋かぶせ」

晴れのご受賞
おめでとうございませす

2019年度各種表彰

全国老人クラブ連合会会長表彰

(令和元年11月受賞)

◆老人クラブ育成功労表彰

大村市老連 山口 鷹士
雲仙市老連 脊川 亀史

◆優良老人クラブ表彰

大村市老連 坂口長生会

◆優良郡市町(地区)老連全国表彰

南島原市老連
深江地区老人クラブ連合会

◆100万人会員増強運動表彰

諫早市老連 久山台シニア会
大村市老連 水計寿会

長崎県老人クラブ連合会会長表彰

◆永年勤続功労者表彰

《市町老連役員 24名》

長崎市老連 浜本 政暉

佐世保市老連 福田 幸弘

久野 尚身

山領 憲一

川島 政雄

高倉 恭一

川淵 節子

氏原 和雄

木塚 昭則

草野 勝善

久保 誠二

中村 文子

宮本 義信

橋本 信雄

出口 洋右

島 信行

本田 亮次

南島原市老連 馬場 和則

柴原三美子

井村優美子

山本與四郎

近藤 正治

時津町シニア連 濱本 孝英

小値賀町老連 近藤 一輝

◆優良老人クラブ表彰

《7クラブ》

長崎市老連 川平町平和会

佐世保市老連 大和長寿クラブ

石岳長寿会

諫早市老連 東小路町有明会

大村市老連 坂口長生会

雲仙市老連 寿会

長与町老連 琴寿会

◆仲間づくりプラスワン作戦

《3老連》

対馬市老連

平戸市老連

小値賀町老連

◆会員増強運動特別賞

《7クラブ》

佐世保市老連 潜竜老友会

熟成クラブ藤寿会

〃 広田3丁目シニア
クラブ

〃 諫早市老連 久山台シニア会

〃 大村市老連 水計寿会

〃 桜馬場第二町内会

〃 老人クラブ桜寿会

〃 のぞみ会



全国老人クラブ連合会会長表彰

(令和元年8月受賞)

◆100万人会員増強運動特別賞

佐世保市老連 潜竜老友会

大村市老連 のぞみ会

◆活動賞

松浦市老連 今福町長寿会連合会

〃 里不老会

対馬市老連 対馬市老人クラブ連

〃 合会豊玉支部

令和元年度九州ブロック 老人クラブリーダー 研修会 参加報告

令和元年7月4日(木)～5日(金)、北九州市(リーガロイヤルホテル小倉)において、九州各県・指定都市老人クラブのリーダー並びに関係者等約300名が参加して開催されました。

本県からは、内田会長ほか13名が参加しました。

第1日目(7月4日)

◆基調報告

「5か年の会員増強運動と今後の方向」について

全老連 常務理事 齊藤 秀樹

会員増強運動に関するアンケート調査の分析・評価による運動の総括と今後の方向性についての報告がありました。

◆研究部会

・第1研究部会

「健康づくり・介護予防活動の推進」

・第2研究部会

「友愛活動(高齢者相互の支え合い)の推進」

・第3研究部会

「会員増強(100万人会員増強運動)の推進」

各研究部会それぞれで事例発表が

あり、第2研究部会では、壹岐市老連の山口事務局長が「私たち老人クラブの果たす役割は」というテーマで事例発表を行い、取組み状況と成果を発表されました。

第2日目(7月5日)

◆講演

「脳卒中のお話」

平成紫川会小倉記念病院病院長

永田 泉

◆全体会

3つの研究部会での協議結果について、それぞれ報告がありました。今後の老人クラブ活動の参考になる報告でした。

◆閉会

九州各県・指定都市老連連絡協議会副会長の閉会挨拶、次年度(2020年度)開催の熊本県老連会長の挨拶で閉会しました。



市町老連若手リーダー 研修会 開催報告

令和元年8月29日(木)～30日(金) Aiega軍艦島(長崎市)において、若手リーダー47名(うち、女性7名)が参加して研修会を開催しました。

内田会長、近藤委員長の開会挨拶の後、講話、事務局説明、報告、グループ協議・全体会などが行われました。



【講話】

「なぜ 老人クラブは必要なのか」

(一社)長崎県社会福祉士会

小川 睦 会長

高齢者の元気なまちは、地域に暮らす住民に元気と勇気を与えてくれ

るとの話で締め括られ、老人クラブの活動自体がいかに地域に貢献しているか再認識することができ、今後の活動に有意義なものとなりました。

【事務局説明】

県老連事務局長

・老人クラブの状況、会員増強運動5か年の結果(会員数推移等)

・主な行事

・老人クラブ傷害保険等

【報告】

「老人クラブリーダー中央セミナー」に参加して

諫早市老連

小野由利子 若手委員長

「新規クラブを立ち上げよう!解散クラブを防ごう」について

「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」に参加して

時津町シニア連

宮本 砂男 壮年部長

「高齢者関連施策と老人クラブへの期待」について

地域の様々な課題を抱えている人の状況を知る、老人クラブの今までの活動を活かす等

【グループ・全体協議】

テーマ

◎「5年、10年後を見据えてく魅力ある老人クラブ」について

◎「会員増強運動等」について

参加者が9グループに分かれ、5年先、10年先老人クラブはどうなっているだろうか、若手委員ができること、魅力ある老人クラブはどんなクラブだろうか、入会したいと思うクラブに近づくためには何をすべきかなど各地域での取組み状況等も踏まえ、情報交換・意見交換が行われました。

翌日の全体会では、近藤委員長の司会で進行し、各グループからは、「各種行事を通じて入会を促す」、「自治会等との連携が重要」、「30代、40代とその子供との交流を図り、親、祖父母とのつながりを作る」等の意見や、また、「若手委員を増やす」、「健康で元気で長生きを目指す」、「免許返納問題でコミュニティバス、乗合タクシー等に取り組む」等の意見が出され、活発な協議が行われました。



市町老連女性リーダー 研修会 開催報告

令和元年9月5日(木)～6日(金)南風楼(島原市)において、女性リーダー162名が参加して研修会を開催しました。

内田会長、瀧口女性部会長の開催挨拶の後、講話、事務局説明、報告、グループ協議・全体会、創作タイム(写真立て)が行われました。



【講話】

「高齢者の適度な運動について」

医療法人社団東洋会池田病院

大石 賢 理学療法士

転倒予防と実践(①高齢者の体力、

②効果的な運動方法、③介護予防(転倒予防・筋力向上トレーニング)の効果について)④がまだ不体操の紹介・実践)について説明をいただき、理解を深めることができました。



【事務局説明】

県老連事務局長

・老人クラブの状況、会員増強運動

5か年の結果(会員数推移等)

・主な行事

・老人クラブ傷害保険等

【報告】

「第30回老人クラブ女性

リーダーセミナー」

県老連

瀧口 京子 女性部会長

「示そう！女性パワー」について

【グループ・全体協議】

テーマ『友愛活動について』

参加者が11グループに分かれ、友愛活動に関する各地域での取組み、活動状況、成果、課題等について、情報交換・意見交換が行われました。

翌日の全体会議は瀧口部会長及び森・中山両副部会長の司会により進行し、各グループから具体的な活動事例の発表や認知症の方への対応の意見等も出され、活発な協議が行われました。

【創作タイム】

「折り紙で作る写真立て」を大村市老連の野口女性部会長に指導をいただきながら、皆さんで創作しました。



「令和元年度高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」に参加して



島原市老連 吉田 正弘 (右)
大村市老連 大村市老連 橋村 利満 (右2人目)
佐世保市老連 松本 修二 (左2人目)
長崎市老連 佐々木正吾 (左 筆者)

令和元年12月12日(木)～13日(金)、標記のセミナーが新霞が関ビル「灘尾ホール」において、全国から135名が参加して開催されました。

【1日目】

一、地域支え合い講座「フレイル予防と地域支え合い」

東京都健康長寿医療センター研究所・社会参加と地域保健研究チーム研究部長

藤原 佳典

(1) 新たな健康課題「フレイル」

フレイルとは、筋力、持久力、生理機能の減衰を特徴とする複数要因からなる症候群で身体的障害や死亡に対する脆弱性が増大した状態。

(2) 身体的フレイル、認知・心理的フレイル、社会的フレイルがある。よって要支援要介護の危険性が高い状態なので、悪循環させない体制づくりが大切である。

(3) フレイル予防の3つの柱(栄養・運動・社会参加)、人生100年時代のフレイル対策とは、「自分のために」、それが「相手のために」、「地域のために」三方よし

二、老人クラブが取り組む健康づくり、生活支援

全老連理事・事務局長

正立 斉

(1) 高齢者を取り巻く社会情勢

- ① 高齢者の人口
- ・ 2018年75才以上人口が65才以上人口の半数を超える
- ・ 2025年団塊世代が75歳以上となり高齢化率が30%を超える
- ・ 2040年団塊世代ジュニアが

65才を迎え75歳以上人口が20%を超える

(2) 全国的な取組みの重点マインテナー

① 「のぼさうー健康寿命、担おう！地域づくりを」

② 取組みの重点

- ・ 仲間づくり(会員増強)への取り組み
- ・ 高齢者の健康づくり、生活支援の推進

三、上手な医療の受け方

日本医師会常任理事

江澤 和彦

(1) 認知症↓行動障害は「ケア」でよくなる↓そして治る

(2) 人生の最終段階における医療、ケアの決定プロセスに関するガイドライン

(3) フレイル進行防止プログラム10項目

(4) 地域包括ケアシステム構築10か条

(5) 尊厳の保障へ向けて

四、高齢期の食生活のあり方

日本栄養士会専務理事

迫 和子

(1) 「今どき低栄養なんて……」と思っ ていませんか？

(2) こんな人、こんなときにご用心

五、事例発表

(1) サロン活動を通じた健康づくり、介護予防

香川県三豊市老連会長

藤川 泰文

① クラブの概況

- ② 健康づくり
- ③ 友愛活動
- ④ サロンの役割

(2) 自治会と共につくる安心して暮らせる町づくり

横浜市保土ヶ谷区老連理事

菅原 銀孝

① 地域の概況

- ② 「オリーブの会」の取組みについて
- ③ 活動員の募集



【2日目】

一、高齢期の運動による健康づくり、介護予防「知識を共有し、一人一人が、そして、みんながアクティブに」

順天堂大学名誉教授・日本フェルデンクライス協会会長

武井 正子

(1) 超高齢社会の健康づくり、介護予防

① WHO（世界保健機関）

② 全国老人クラブ連合会 運動による健康づくりの取り組み

③ WHO「運動器の10年」

④ 口コミティブシンドローム

⑤ サルコペニア（加齢と運動不足、低栄養による筋量の減少）

⑥ 認知症の増加

⑦ フレイル予防

(2) 運動は仲間とできる健康づくり、介護予防

(3) いきいきクラブ体操はカラダへの気づき

(4) 健康づくり運動で期待できる効果

二、歯、口腔の健康管理

北海道大学大学院歯学研究院

口腔健康科学分野高齢者歯科

学教室 准教授

渡邊 裕

(1) 現在の高齢者医療福祉の目的（地域包括ケア）

① フレイル予防

② 要介護状態の予防

③ 在宅診療の推進

④ 在宅療養の継続

(2) フレイルの定義

(3) フレイルリテイサイクル

(4) フレイルの多面性

(5) オーラルフレイルとは

(6) 8020運動

(7) 健康寿命の延伸

(8) 口腔機能低下による栄養への影響

(9) オーラルフレイルを予防するには

三、グループ学習

22グループに分かれて、クラブで取り組む健康づくり、生活支援活動について、自分達がどのように活動しているか意見を出し合いました。

＜セミナーに参加して＞

今回のセミナーに参加させていただき、健康がいかに大切か改めて感じたとともに、各地域における高齢者に対する支援、介護が重要であると改めて思いました。セミナーで学んだ事例を今後の活動に活かしていきたい。ありがとうございました。



第48回 全国老人クラブ大会 参加報告

令和元年11月26日（火）～27日（水）の2日間、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに全国から約1600名、長崎県から8名が参加して、さいたま市において開催されました。



1日目は、テーマ別に分散して、第1部会「高齢者の健康づくり・介護予防活動の推進」、第2部会「高齢者の支え合い活動の推進」、第3部会「演じる活動（舞台発表）」の活動交流が行われました。

2日目は、武蔵一宮水川神社権宮司東角井真臣氏による「武蔵一宮水

川神社の歴史」と題した講演、埼玉県川口市老連のさしまスローライフの皆さんの「新聞紙による彩の国伝統絵巻」のアトラクション等があり、その後の式典では、老人クラブの育成に功績があった方々や優良老人クラブ等に全老連清家会長から賞状と記念品が贈られました。（本県からの受賞者は4ページに掲載しております。）

最後に「『仲間づくりの輪を広げる』、『元気高齢者をめざす』、『友愛活動を基盤に新地域支援事業と連携した支援活動に努める』など、4項目の実践の誓いを盛り込んだ大会宣言（案）が満場一致で採択されました。

次回の第49回全国老人クラブ大会は、令和2年11月17日～18日の日程で山形県において開催される予定です。



第32回 全国健康福祉祭 和歌山大会

「ねりんピック 紀の国わかやま2019」

令和元年11月9日(土)から12日(火)まで「あふれる情熱はじける笑顔」をテーマに和歌山県下21市町で開催されました。

長崎県からはすこやか長寿財団の横田理事長を団長に監督・選手147名が22種目の競技に参加し、全国各地から参加された選手団と交流を深めながら、日頃の練習の成果を十分に発揮し、各種目において、優秀な成績を収められました。



写真提供 (公財)すこやか長寿財団

「地域文化伝承館」

大会期間中、「福祉・生きがい関連イベント」として、「地域文化伝承館」が11月9日(土)から11日(月)までの3日間、「和歌山ビッグホエール」で開催されました。

「地域文化伝承館」では、和歌山県内の老人クラブ等による「真田紐作品」や「紀州てまり」等の展示、体験等の出展、また、舞台では、地元民謡や郷土芸能をはじめ、コーラス、創作ダンス、健康体操等、多彩な出し物で、会場一体となって盛り上がりました。



老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

2019年10月改定

傷害保険

自分がケガをした時の保険です。(病気および他人に与えたケガは対象外です。)

①対象: 老人クラブ会員に限ります。1人1口加入で年齢制限はありません。加入手続きは所属の老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体保険です。

②保険期間

保険加入月(年2回のみ)	保険期間	申込及び掛金払込期間
2019年10月加入の場合	2019年10月1日午後4時から1年間	2019年7月1日～9月15日まで
2020年4月加入の場合	2020年4月1日午後4時から1年間	2020年1月1日～3月15日まで

③掛金払込の条件: 申込みの人数に関わらず1回の払込につき掛金総額3,000円以上(追加の場合も同様) ※払込手数料は申込者負担

④補償範囲・掛金タイプ:

24時間型/4タイプ = 自転車事故を含む個人賠償責任補償や地震・噴火・津波補償や熱中症危険補償を付加したタイプもあります。

活動型/2タイプ



6タイプから1人1つ選択してください。複数口加入はできません。

賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。(自分のケガは対象になりません。)

①対象

老人クラブ(全員加入が条件となります)

②保険期間

毎年10月から1年間

③掛金

1人年額100円(最低引受保険料3,000円)

④補償

支払限度額1億円



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区麹町3丁目6-14 ミスビル1階102号

受付時間 9:30から17:00(土、日、祝祭日、年末年始休)

加入申込書等、資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> 老人クラブ傷害保険 検索 メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社(担当課)医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

「老人クラブ傷害保険」

■活動型: 老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険

■24時間型: 総合生活保険(傷害補償)

「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

19-T00792 2019年5月作成 6

スポーツ交流大会

開催日 令和2年 5月23日(土)
 申込受付 1月6日(月)～2月28日(金)

- | | | |
|-----------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 諫早市
長崎県立総合運動公園 | ○マラソン
○ローンボウルス | |
| 長崎市
長崎市総合運動公園 | ○テニス
○ソフトテニス | [5月16日(日)]
[5月16日(日)] |
| 諫早市
諫早市小野体育館※ | ○卓球
○剣道 | |
| 諫早市
なごみの里運動公園※ | ○ソフトボール [5月23日(土)～24日(日)]
○ペタンク | |
| 諫早市
諫早市中央体育館※ | ○ソフトバレーボール | |
| 大村市
大村市陸上競技場 | ○ゲートボール | |
| 大村市
大村市弓道場 | ○弓道 | |
| 大村市
大村市古賀島スポーツ広場 | ○サッカー | |
| 大村市
大村市総合運動公園 | ○グラウンド・ゴルフ | [5月9日(日)] |
| 大村市
シーハットおおむら | ○太極拳 | |
| 長与町
長与シーサイドパーク
多目的広場※ | ○ターゲット・バードゴルフ | |
| 長与町
長与町民体育館※ | ○バウンドテニス | |
| 佐世保市
佐世保市温水プール※ | ○水泳 | [5月16日(日)] |
| 長崎市
長崎カンツリー倶楽部 | ○ゴルフ | [4月1日(日)]
申込受付 2/26(金)～3/18(木) |
| 佐世保市
パラダイスボール | ○ボウリング | [4月25日(日)]
申込受付 1/6(月)～3/23(日) |

※は令和元年12月12日現在の開催予定地です。

文化交流大会

- | | | |
|---------------------|----------------|------------|
| 長崎市
長崎県勤労福祉会館 | ○囲碁交流大会 | [4月25日(日)] |
| 長崎市
長崎市三笠記念会館 | ○ふれあい三世代交流将棋大会 | [5月10日(日)] |
| 長崎市
マーシャンハウスいであみ | ○健康マーシャン交流大会 | [5月24日(日)] |

生きがい作品展

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 令和2年
6月4日(土)～7日(日) | 申込受付
1月6日(月)～4月30日(木) |
| 長崎市
長崎県美術館 | ○絵画
○書
○写真
○工芸・彫刻 |

第17回 長崎県 ねんりんピック 兼ねんりんピック岐阜2020派遣選手選考会



総合開会式
 令和2年
 5月23日(土)
 午前9:30から

場所
 大村市
 シーハットおおむら
 メインアリーナ

主催 長崎県 (公財)長崎県すこやか長寿財団 (公財)長崎県老人クラブ連合会
 お問い合わせ先 (公財)長崎県すこやか長寿財団 TEL.095-847-5212 FAX.095-847-6181
 〒852-8104 長崎市茂里町3-24 長崎県総合福祉センター棟3階 info@sukoyaka-nagasaki.or.jp URL http://www.sukoyaka-nagasaki.or.jp

2019年度「社会奉仕の日」(9月20日)活動報告

会員の皆様には、老人クラブ「老人の日・老人週間」における活動にご協力頂きありがとうございました。
各取り組みのうち「社会奉仕の日」の活動について下記のとおり集計しました。

No.	市町老連名	清掃・美化活動		環境にやさしい活動		計	
		クラブ数	会員数	クラブ数	会員数	クラブ数計	会員数計
1	長崎	282	3,031	113	1,544	395	4,575
2	佐世保	116	2,639			116	2,639
3	島原	70	601			70	601
4	諫早	242	2,785	71	844	313	3,629
5	大村	47	1,009	21	409	68	1,418
6	平戸	24	546	2	37	26	583
7	松浦	34	773			34	773
8	対馬	24	295			24	295
9	壱岐	57	1,083	34	614	91	1,697
10	五島	30	624	19	617	49	1,241
11	西海	28	924	6	120	34	1,044
12	雲仙	66	955	16	547	82	1,502
13	南島原	63	833	24	310	87	1,143
14	長与	27	368	5	61	32	429
15	時津	18	215			18	215
16	東彼杵	11	369			11	369
17	川棚	28	739		40	28	779
18	波佐見	17	490	2	92	19	582
19	小値賀	21	80			21	80
20	佐々	4	42			4	42
21	新上五島	12	66			12	66
計		1,221	18,467	313	5,235	1,534	23,702

注) クラブ数、会員数は延べ数

県老連では、ホームページを開設しています。ご覧になりたい方は下記のアドレスにアクセスしてください。

<http://nagasakikenroren.sakura.ne.jp/>

編集雑感

皆様、あけましておめでとうございます。

今年は、東京オリンピック・パラリンピック開催の年です。昨年のラグビーワールドカップと同様に、多くの人に感動と希望を与えてくれるものと思います。あらためて明日への希望を持つということの大切さを感じたところです。

昨年は、令和の時代となり、新しい時代への期待と希望が満ちた一方で、全国各地で災害が起こり、多くの仲間の皆さんも被害に遭われました。

令和2年は皆様にとりまして、災害もない、平和で明るい年となりますよう、お祈り申し上げます。



光と風の輪 第51号

令和2年1月10日発行

発行 (公財)長崎県老人クラブ連合会

〒095-8461-5000
長崎市茂里町3-24

発行人 内田 政信
編集人 上田 幸明
印刷 (有)正文社印刷所